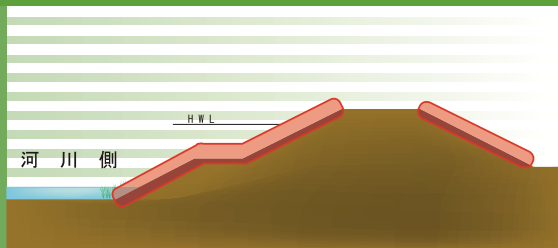


環境・景観ブロック

NETIS登録
CB-090018-A

ポットウィードⅠ型 997×997×250mm
ポットウィードⅡ型 1497×1497×250mm



ポットウィードは、河川護岸として必要な機能を保ちながら、土壌保持の目的で、井桁状のポット部をもつ環境・景観ブロックです。本製品は、1㎡と2.25㎡の二種類があり、専用の連結金具により連結後、土壌を覆土する事で隠し護岸としてご使用頂けます。

特長

ポットウィードは、井桁状のポットにて土壌を保持するため、比較的イネ科等は繁茂しやすく、地下茎にて繁殖する種(セイタカアワダチソウ)などには、進入・繁茂を抑制できる特徴が見受けられます。これはポット部により地下茎が広がる事が出来ず、適切な時期の草刈作業にて排除が行いやすいためです。また、ポット部の深さが150mmであり、主に主根を深く下ろし、草丈が高い植物の繁茂も抑制でき、堤防道路の見通しの悪化、過度の繁茂による親水性の悪化も防ぐ事が出来ます。

維持管理面では、洪水等で表土が一部流出しても、井桁状のポットにより流出した箇所のみ補修ができ、管理もしやすい特徴をもっています。



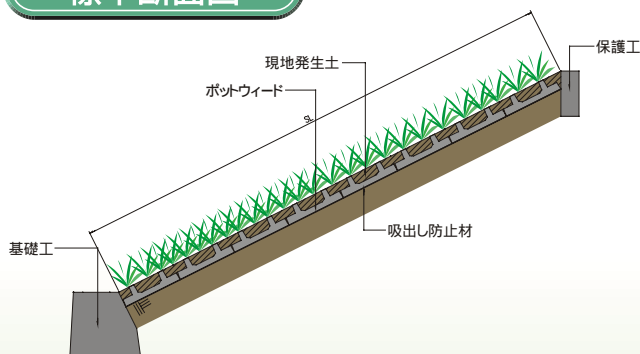
岐阜県自然共生工法展示場、自社展示区画



ポットウィード施工後1年経過状況(三重県)



標準断面図



右写真の赤線内がポットウィード施工範囲です。施工範囲外と比較して、外来種の進入、草丈の高い植物の進入が抑制されているのが確認出来ます。



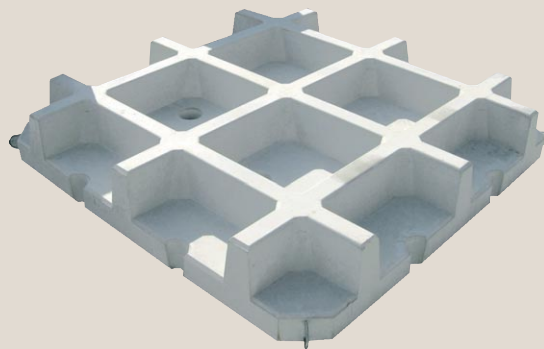
施工後2年目 撮影時期7月

ポットウィード I 型



寸法規格	mm	997×997×250
参考重量	kg	365
参考客土量	m ³	0.094

ポットウィード II 型



寸法規格	mm	1497×1497×250
参考重量	kg	838
参考客土量	m ³	0.206

ポットウィード I 型 施工状況

三重県宮川昼田護岸

ポットウィードの施工方法

- ①設計図書に基づき法面整形を行います。
- ②吸出防止材を敷設します。
必要に応じて遮水シートを敷設して下さい。
- ③専用の連結金具にて連結して下さい。
- ④ブロック間の連結確認後、覆土を行って下さい。

注) 従来種の植生を図るため、覆土材には極力現地発生土(粘性土)を使用して下さい。



ブロック敷設直後



覆土材詰土後



施工後90日